

たねニュース

平成28年(2016年)1月1日発行(隔月1回1日発行)

- 新年ご挨拶 ●北海道向けサイレージ用トウモロコシの品種選定について
- 第14回全日本ホルスタイン共進会北海道で開催
- 第67回日本酪農研究会福岡市にて開催
- 道央支店より新年ご挨拶 ●道東支店より新年ご挨拶
- 酪総研シンポジウムのご案内

謹賀新年

平成28年の新春を迎え、皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また日頃より弊社事業につきましては特段のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本の酪農・畜産業界を取り巻く環境はご周知の通り、昨年度にTPP(環太平洋パートナーシップ協定)の大筋合意という動きがありました。大きな転換期を迎えた中で、依然として高止まりする飼料価格による高コスト構造や、生産者の皆様の高齢化・後継者不足による離農や廃業に歯止めがかからない状況において、生産基盤の脆弱化と地域コミュニティの存続の危機も懸念されています。また東日本大震災による甚大な被害は、今もって尚農業と環境に大きな影を落としながらも、生産者並びに関係者の方々の復興へ脈動を感じているところでございます。これからの国をあげての農業施策の実行を強く期待したいところです。

弊社は先達である黒澤西蔵翁が提唱した「健土健民」を企業理念とし、社是である「農

業奉公」のもと創業以来一貫して循環型農業を推進し、地域に適した牧草・飼料作物種子、緑肥作物種子の新品種開発、お客様のニーズに応える製商品・生産技術の開発に取り組んでおります。

具体的に取り組みとして平成27年4月より(株)TACSしべちゃは生乳生産をスタートしましたところ、多くの関係機関からのお問い合わせ・視察を受けており、その動向に着目されていると感じています。課題であります持続可能な低コスト酪農経営を目指し、草地管理技術・生産性向上の実証、新規就農者への研修支援に取り組み、酪農の振興と地域の活性化に貢献していく所存です。

本年も、雪印メグミルクグループの一員として、酪農・畜産の生産現場で数多くの商品と技術を取り揃え、お客様のお声に応えられる様努めてまいります。

今後とも、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げます、ご挨拶と致します。

平成28年元旦

雪印種苗株式会社
代表取締役社長 赤石 真人